

錦江スタンダード 「児童生徒に小・中学校9年間で身につけさせたいこと」(幼稚園・保育園から高校までの見通し)

令和6年4月改訂版

項目	目指す子どもの指標(目安)	めざす子どもの指標(目安)				目指す子どもの指標(目安)	具体的な手だて		
	保育所・幼稚園	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学生	高校生	学校	家庭・PTA・地域	
子どもの成長過程	発達隆盛期0～5歳 大脳辺縁系、間脳、脳幹の発達期(生命維持に関わる身体機能の発達期) そのために⇒早起き・規則正しい食事・早寝の習慣化	発達隆盛期6～14歳 大脳新皮質の発達期(知能、言語機能、知覚、情感、微細運動等の発達期) そのために⇒様々な経験・体験(知る、見る、やってみる)、家庭での役割				発達隆盛期10～18歳 前頭葉と神経回路の発達期(論理的思考、問題解決能力、想像力、判断力、感情の抑制などの発達期) そのために⇒「安心」のインプット、言葉を引き出す(コミュニケーション)、ルール設定		脳育て(子育て)方法を学び、子どものしつけや学習に生かす	
	様々な外遊びを経験する	神経系の発達期3～8歳	第二次性徴10歳～		心肺機能の発達期13～15	筋肉・骨格系16歳	できるだけ、歩かせる 生涯にわたって、自己管理、健康を維持増進できる力を小さい頃から身につけさせる		
	走る、投げる、飛ぶ、まわるなど様々な運動を経験する	道具を用いるなど様々なスポーツに取り組み		競技力向上に努める。少なくとも1日に30分間以上運動する。					
習慣	早寝・早起き・朝ご飯 科学的に最適な睡眠時間	登園の45分～1時間前には起床 朝ご飯を必ず食べる 5歳までは11時間以上	20:00までに就寝 6:30までに起床 朝ごはんを必ず食べる 10時間30分程度	21:00までに就寝 6:30までに起床 朝ごはんを必ず食べる 10時間程度	22:00までに就寝 6:30までに起床 朝ごはんを必ず食べる 9時間30分程度	23:00までに就寝 家を1時間前までに起床 朝ごはんを必ず食べる 9時間程度	24:00までに就寝 家を1時間前までに起床 朝ごはんを必ず食べる 8時間15分程度	食事・睡眠が不足している人を把握し、必要に応じて健康相談、家庭への連絡をする	子どもと一緒に食事をする時間に余裕をもたせる すこやかチェックの実施
	気持ちの良いあいさつ 場に応じた言葉遣い	大きな声で元気よくあいさつする ○○さん、おはようございます。	大きな声で元気よくあいさつする	自らすすんで元気のいいあいさつをする 敬語を伝える(10歳頃から)	時と場に応じたあいさつ(会釈を服務)をする 場に応じた言葉遣いができる	語先後礼で、立ち止まって、明るく、元気に相手の顔を見てあいさつをする(会釈もできる) 場に応じた言葉遣いができる	語先後礼で、立ち止まって、明るく、元気に相手の顔を見てあいさつをする(会釈もできる) 相手の状況や場に応じた言葉遣いが正しくできる	生徒会を中心とした挨拶運動等の実施 教職員の率先した挨拶	大人から率先した挨拶を行う
時間	時間を見て行動できる	保育者の事前の指示を理解し、時計を見て動く	次時の準備をしてから休む チャイムで席に着く(時計を見て、時間がわかる)	次時の準備をしてから休む 時計を見て席に着く(なるべく、チャイムや促されての行動をしない)	次時の準備をしてから休む 自ら1分前着席をする	次時の準備をしてから休む 1分前着席、黙想をして待つ	ノーチャイムであるため、常に時計・腕時計等を確認しながら行動する	声かけをする、相手を思いやる、ルール、マナーの指導をする 生徒会としての取組の実施	起床時間、登校時間、就寝時間を決める 外出の際は帰宅時間を確認する
	約束の時間を守る	事前の指示を理解し、決められた時間を守る	決められた時間を守る (登下校・掃除、帰宅時間を告げるなど)			決められた時間を守る (登下校・掃除・部活動、帰宅時間を告げるなど)	見通しを持って行動を開始し、時間を厳守する		
身なり	身だしなみをととのえる	5歳までは、1人で着替えることができる	前夜のうちに、翌日の服装の準備(低学年までは保護者と一緒に準備、中学年までは保護者が最終確認、高学年以上は必要に応じ保護者が確認)を終える。学校の決まりを守った服装をする		学校の決まりを守った服装をする 社会通念に照らし合わせ、場に応じた服装をする	学校の決まりを守った服装をする 社会通念に照らし合わせ、場に応じた服装をする	生徒会の取組として点検活動を行う 教職員による点検をする	学校のルールを知り、チェックを行う	
学習習慣	家庭学習を毎日する(読書の時間も含む)	絵本やすかんを見る 読み聞かせをしてもらう	1年: 30分以上 2年: 40分以上 3年: 50分以上 4年: 60分以上 5年: 70分以上 6年: 80分以上	4～9月:18:00 10月～3月:17:00	1年:90分以上 2年:100分以上 3年:120分以上	将来に見通しを持ち、必要なスキルを適切な方法で計画的に身につける。	「学習の手引き」を配布 各種便り等による啓発	学習環境の整備に努める 大人が学ぶ姿を子どもに見せる	
家庭・地域でのルール	帰宅時刻	保護者とともに行動	4～9月:18:00 10月～3月:17:00			部活動終了後速やかに下校 休業中は17時まで以下校	門限を守る。遅くなる場合には、保護者に連絡を入れる。	下校指導	行き先や帰宅時間の確認 夜間徘徊は絶対させない
	TVやゲーム・ネットの時間携帯電話・スマホなどの使い方	夜間は絶対にさせない 動画に子守をさせない	家庭で決めたルールを守る 20:00以降は使用しない		家庭で決めたルールを守る 21:00以降は使用しない ネチケットを守る	家庭で決めたルールを守る 21:00以降は使用しない ネチケットを守る	家庭で決めたルールを守る 21:00以降は使用しない ネチケットを守る	児童生徒・家庭への啓発 ゲーム・ネット依存等警鐘 ルールやモラルの指導	家庭内でルールを決める ゲームの貸し借りをしない すこやかチェックの実施
準学備習	家庭・地域での役割・お手伝い	保護者と一緒に出ることをする	お手伝いを保護者と決めてする	家族の一員としての手伝いを決めて毎日続ける	家族・地域の一員としての仕事を決め、責任をもって続ける	家族・地域の一員であることを自覚し、決められた役割を責任をもって果たす	家族の一員としての責任を果たす。 地域の行事には積極的に参加する	子どもを地域行事に参加させる。自らの参加する	
	身支度・学習用具をそろえる	前夜に、保護者と一緒に確認しながら準備できる	前夜に、保護者と一緒に準備できる	前夜に、時間割等を見て自分で準備し、保護者に確認してもらう	前夜に、時間割を見てチェックしながら自分で準備する(必要に応じ保護者が確認)	提出物を含め、次の日の準備は前夜に済ませる	提出物を含め、次の日の準備は前夜に済ませる	生活の記録などを利用して、計画、実行、反省のサイクルを確立させる	確認の声かけをする
キャリア教育基礎的・汎用的能力	人間関係形成・社会形成能力	家族や地域の人と過ごす 徐々に家庭での役割を持つ	あいさつ・返事をする 友達と仲良く遊び、助け合う 家庭での簡単な役割を持つ	自分と友達の良いところを認め、励まし合う 互いの役割や役割分担の必要性が分かる。	異年齢集団の活動に積極的に参加し、役割と責任を果たす。 社会生活に様々な役割があることやその重要性がわかる。	多様な考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができる。 自分の置かれている状況を理解し、役割を果たしながら、他者と協力・協働して活動に参加することができる	多様な考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができる。 自分の置かれている状況を理解し、役割を果たしながら、他者と協力・協働して活動に参加することができる	学級や学校の課題を、自分たちで解決させる。自治的な風土を育てる 職業、就業者等に触れる機会をできるだけ設ける キャリアパスポートを計画的かつ定期的に記入、活用する	進路や職業、キャリア等に関して講話をする機会をつくる キャリアパスポートを親子で見える機会をつくる コースや世の中話に話についていることに関して、関心をもたせる 自己(保護者や家族)の体験や仕事に関わる話をする機会をつくる 家庭の中で役割をもたせる
	自己理解・自己管理能力	好きなことを見つける	好きなもの、大切なものをもつ 決められた時間やきまりを守る 自分のことは自分でする	自分の良いところに気づける。 自分のやりたいこと、よいと思うことなどを考え、進んで行う。 自分の仕事に対して、責任をもち、最後までやり通す。	自分の長所や短所に気づき、自分らしさを発揮する。 自分の仕事に対して責任をもち、最後までやり通す。	組織との相互関係を保ちつつ、自分自身、自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動することができる。 自らの思考や感情を律したり、自己の成長のために積極的に学ぼうとしたりする	組織との相互関係を保ちつつ、自分自身、自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動することができる。 自らの思考や感情を律したり、自己の成長のために積極的に学ぼうとしたりする	学習や行事等の際に、目標を立て、見通しをもたせ、振り返りを繰り返す(その活動の状況に対する評価を返す) キャリアガイダンスを適宜、行う。 世の中の動向や出来事に関心をもたせる	
	課題対応能力	自分でやってみる	作業の準備や片付けをする	計画づくりの必要性に気づき、作業の手順がわかる。 学級生活をよりよくなるために話し合う。	自分に必要な情報を探す。 見つけた課題を自分の力で解決し、お湯とする。 学級活動をよりよいものにするために解決方法を話し合う	係活動等をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立て、その課題を処理・解決できる	係活動等をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立て、その課題を処理・解決できる		
	キャリアプランニング能力	あこがれを抱く になりたいものを描く	係や当番の活動に取り組み、それらの大切さやわかる 身近で働く人々の様子がわかり、興味関心をもつ	係活動や当番活動に積極的に関わり、働くことの楽しさやわかる いろいろな職業や働き方があることがわかる 日常生活や学習と生き方との関係に気づく 将来の夢や希望をもつ	施設や職場見学等を通し、働くことの大切さや苦労がわかる 身近な産業、職業の様子や変化がわかる 学んだり体験したりしたこと、生活や職業との関連を考える	働くことの意義を理解し、自らが果たすべき立場や役割を踏まえ、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、主体的に判断し、自らのキャリアを積み上げていくことができる	働くことの意義を理解し、自らが果たすべき立場や役割を踏まえ、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、主体的に判断し、自らのキャリアを積み上げていくことができる	様々な事象に対する自分なりの考えをもたせる	
交通安全・防犯	自分の身を自分で守る。(乳幼児期は単独行動をさせない) 10番の家を知る。交通ルールを知り、守る。「いかのおすし」実践	危険予知能力を年齢に応じ身につける。				学校では、自転車点検、自転車の安全な乗り方の指導、交通ルール・マナー指導を徹底する。 危険予知能力を高めていく。		家庭においては、行き先を必ず確認する。定期的な自転車点検をする。危険な目にあつたときの対処法	